

会 議 録

会 議 の 名 称	令和7年度第2回白岡市地域福祉計画市民懇話会
開 催 日	令和7年8月18日（月）
開 催 時 間	午後2時開会 午後3時30分閉会
開 催 場 所	はびすしらおか 健診室
議長（委員長・会長）の氏名	矢島静江
出席者（出席委員）の氏名・出席者数	矢島静江、佐々木由規子、岡安政美、西村恵子、長島一夫、浅野悦子、松浦禎洋、小森谷清 8名
欠席者（欠席委員）の氏名・欠席者数	関根公子、情野雄太郎 1名
説 明 員	健康福祉部福祉課 関根主査、鶴岡主任
事 務 局 職 員	健康福祉部福祉課 大久保課長、関根主査、鶴岡主任 白岡市社会福祉協議会 飛田事務局長、青木主査、橋本主事、秋山主事、高木主事
その他会議の出席者	情野委員代理 茂呂美枝子氏（寺子屋えん所属） 株式会社 まち研 浜田研究員、本間研究員
会 議 次 第	別添のとおり
配 布 資 料	別添のとおり
傍 聴 人	4名

議 事 の 経 過	
発言者	議題・発言内容・決定事項
(説明)	1 開会 矢島会長 開会あいさつ [青木主査より、会議の傍聴について説明を行う。] (傍聴人4人との報告)
会長	傍聴人の入室を許可します。 (傍聴人入室)
会長	2 議 事 (1) 意見調査票に係る質疑応答について
茂呂氏	追加の意見調査票について、情野委員の代理である茂呂様に説明をお願いします。 (意見調査票及び寺子屋えんの紹介資料をもとに、概要を説明) 私たちは不登校児の居場所として活動を始めましたが、家庭ごとにいろいろな悩みを抱えていることから、こどもの家族にも支援の対象を広げています。 大切なことは、居場所を利用することもや家族が、何に困っているのかを引き出してあげることだと思います。特に、ひきこもりや不登校については、仲が良いお母さん同士であっても話しにくく、家庭ごとに課題があると感じています。 一つの例をお話しさせていただきます。現在、寺子屋えんを利用している不登校の中学生の男の子で、その子のお母さんは息子の不登校について、様々なところに相談しましたが、どのような場所に行ったら良いというアドバイスはもらえなかったということでした。 その男の子は、大人といることや会食等が苦手でしたが、今では克服しています。また、現在は、高校受験に向けて頑張っています。 寺子屋えんを利用して、家族以外の大人とかかわったことが良かったようです。現在の社会は、人とのつながりが希薄になっているのだと思います。
会長	質問等はありませんか。
委員	(寺子屋えんの) 利用者は何名ですか。
茂呂氏	現在の利用は10人弱ですが、昨年の活動の中では延べ143人の参加がありました。 傾向としては、体験型のイベントの人気があります。
委員	参加費は1回500円ということですね。
茂呂氏	こどもだけで参加することはあまりありませんので、大人だけ500円としています。
委員	お話をお聞きして、対象となる人にたどりつくことが大変であると思いました。不登校のこども等に来ていただくには、どのような方法が良いのでしょうか。

茂呂氏	そこが難しいところでもあります。 現在は、人と人のつながりから、私たちの活動を知ってもらうという形となっています。 学校では、不登校の把握はしているとは思いますが、不登校と断定することが難しい面もあると思います。私たちの活動が口コミのようなもので広がって、そのような子どもや家族が「行ってみようかな」と思ってもらうことが大切だと思います。
委員	知ってもらうきっかけは、口コミでしょうか。
氏	SNS等も運用しています。 また、市のセミナー等にも参加し、周知活動も実施しています。
委員	不登校等で悩んでいる子どもに向けて、学校にチラシを配布する等の周知はしていますか。
茂呂氏	それはしていません。
委員	私たちが、「こういう場所がありますよ」という案内を、学校や家庭にお話しをすることはかまわないでしょうか。逆に困るようなことはありますか。
茂呂氏	私たちは、現在、6名程のメンバーで運営しております。それぞれ日中は仕事をしており、許される時間内での限られた活動となっています。 しかし、居場所を必要としている方がいるのであれば、スタッフを増員することが望ましいとは思っています。 私たちは、学校に行き辛い子たちが社会に適応していくというよりも、元気になって、生きがいを見つけていくことを目指しています。
委員	私たちがお手伝いに行くことは可能ですか。
茂呂氏	もちろんです。喜んでお待ちしております。
会長	他にはいかがですか。皆さんから御提出いただいた意見調査票もありますので、そちらからも何かあればお願いします。
委員	寺子屋えんについては、今回初めて知りました。地域には、悩んでいる方がたくさんいると思いますので、白岡市内にこのような場所があるということを、必要な方にお伝えしたいと思っています。
委員	会長の意見調査票には、こども会との連携についての記載がありました。その内容をお聞きしたいと思います。
会長	地域のサロンでは、4月にお花見、7～8月には、流しそうめん、七夕飾りなどを、福祉委員、愛育会、こども会と連携してやっています。こうした行事は、高齢者と子どもが一緒に参加できるもので、地域のつながりを大切にした活動となっています。
委員	今回、2つの施設（地域包括支援センター、白岡市デイサービスセンター）から報告がありました。職員の方が抱えている悩みなどがありますか。
委員	私たちは、地域で孤立している人に対しては、熱中症は大丈夫ですか、風邪は大丈夫ですか、などと気遣いながら話をしています。時には、そうした働きかけもなかなか報われないこともあります。できるだけ声をかけるようにしています。
委員	障がいの分野では、常に人手不足となっています。また、支援の対象者の課題は複雑化しています。例えば、知的障がいの程度が軽いため、それまで健常者として扱わ

	れてきたことから、より支援が難しくなっているケースもあります。さらに、当事者だけでなく、家族にも困難があったり、親と子が依存しあっていることもあります。そのような複雑なケースへの支援は悩みの一つとなっています。
委員	サロン活動についてですが、私たちの施設ではサロンに出向いていく活動をしていて、今後もっと出向いていきたいと考えています。また、困りごとは高齢者だけではなく、その御家族が困っている場合もありますので、高齢者を対象としたサロンに限らず、ぜひ様々なサロン活動を御紹介ください。
会長	他に御意見ありませんか。ないようですので、次の議事に進みます。 (2) 意見交換 ア 孤独・孤立対策について
(説明)	〔関根主査より、資料2「(1) 孤独・孤立対策について」に基づき、意見調査票のまとめを説明〕
会長	ご意見いかがでしょうか。 ー 特になし ー
(説明)	イ こども・若者への支援について 〔関根主査より、資料2「(2) こども・若者への支援について」に基づき、意見調査票のまとめを説明〕
会長	ご意見いかがでしょうか。
委員	学校に通っている年代の人については、なんらかの支援の網にひっかかることができと思います。しかし、30代や40代の娘さんが70代の母親を介護するようなケース、いわゆる介護離職したようなケースについては、娘さんへの支援は網からこぼれてしまいがちです。介護が必要な母親だけではなく、娘さんへのフォローをどうするか、ということにも気を配っていく必要があります。今後はこうしたことが増えてくると感じています。
事務局	30～50代で仕事を辞めた人も多く、行政としても対応が難しい課題となっています。市は、福祉の総合相談窓口ということで様々な観点で対応していけるようにしており、行政として支援につなぐという役割を担っています。一方で、地域での居場所、支えについては、皆さんにもご協力をお願いしたいと思います。
委員	意見のまとめにあるように、「訪問や連絡を拒まれる」、「家庭内に踏み込めない」ということについては、実際にあることだと感じています。 しかし、拒むということは、困っていることがないということではない、言えない状況なのだと捉えることが重要です。
事務局	現状では、なかなか学校からも対象者とつながれない、という話もお聞きます。しかし、こどもにフォーカスしていくと、こどもだけではなく家庭の中にも課題があるということもあります。場合によっては、つながることを拒否するご家庭もあると思いますが、そこで終わらずに、地域でも目を向けていただきたいと思います。

	ウ 持続可能な地域活動について
(説明)	[関根主査より、資料2「(3) 持続可能な地域活動について」に基づき、意見調査票のまとめを説明]
会長	ご意見いかがでしょうか。
茂呂氏	ボランティア活動はすごく大変と思われがちですが、やってみれば楽しいと思います。ボランティア体験会などを企画してはどうでしょうか。
事務局	社会福祉協議会と連携して、そのようなプロジェクトも考えていきたいと思います。
委員	私どもの施設では、運動交流会という行事を開催しています。参加は、利用者、いづれサービスを利用する人、またその家族です。ボランティアには、ヘルパーや訪問看護師もいます。 また、今後、マルシェの開催を企画しています。 そして、来年は、運動交流会とマルシェを一緒にして開催したいと考えています。 こうした取組を通じて、認知症の人も含めて様々な人が参加交流できるようにし、地域で様々な活動をしている団体と連携協力したいと思っています。 今後は、みぬま福祉会さんとも連携できたらと考えているところです。 可能であれば、このような取組を市の計画の中でも打ち出していただき、白岡市全体に広がって欲しいと思います。
事務局	つながりや居場所を掛け合わせて、様々な活動に広がっていくと良いと思います。 例をご紹介しますと、先日、はびすしらおかのロビーでカフェイベントを開催しましたが、参加者がその場で知り合いになったり、つながったりするきっかけができました。しかけについては行政としてもやっていく必要があると思っています。 また、ボランティア活動が楽しいということについては、情報発信に努めていきたいと思います。シラオ仮面がカフェイベント宣伝のため児童館に行った様子の動画を白岡市の公式LINEに掲載してあります。楽しく活動しているところがわかっていただけるようなものになっていると思います。
会長	私は先日、こどもの居場所づくりについての研修を受けてきました。居場所づくりは、一人ではなく地域で連携してやることが大事、また、地域に知ってもらうためには、定期的にやることが大事だというお話があり、勉強になりました。
(説明)	(3) 計画に定めるべき内容 [関根主査より、提言書に入れる内容について説明。「1 孤独・孤立対策について」、「2 こども・若者への支援について」、「3 持続可能な地域活動について」の3つのポイントで、意見調査票のまとめを基本として、提言書案を作成。追加でのご意見があれば、福祉課に連絡する。]
会長	次回、事務局から提言書案を提示いただきます。 他に何かご意見などはありますか。 — 特になし —
会長	予定された議事については、すべて終了しました。

(説明)	3 今後の予定 [鶴岡主任より、次回会議について連絡] 4 閉会
議事の内容・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。 令和 7 年 9 月 11 日 天島 静江	